

# ガラス選びのポイント

窓の性能のカギを握る大切なポイントのひとつが「ガラス」です。  
ガラスの選び方次第で、窓の性能や機能が変わり、より快適な住まいづくりにつながります。

## ポイント1: 断熱性能

窓からの熱の出入りを防ぎ、<冬の寒さ><夏の暑さ>を抑え、暖冷房費削減にもつながります。

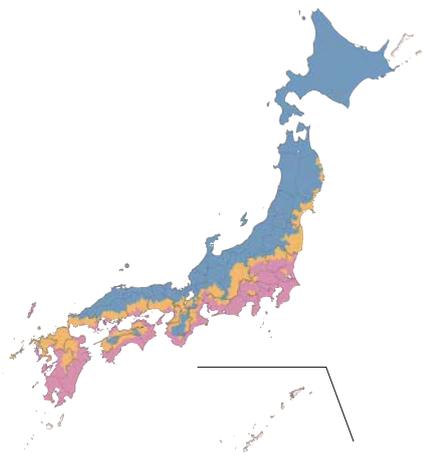
ガラス種類		Low-E複層ガラス クリア	Low-E複層ガラス グリーン(高遮熱仕様)	一般複層ガラス	単板ガラス
ガラス種類					
ガラス構成	室外側	FL3	Low-E3	FL3	FL3
	中空層(空気)	12	12	12	
	室内側	Low-E3	FL3	FL3	
断熱性能	熱貫流率 (W/m <sup>2</sup> ·K)	高い ← 1.7	← 1.7	断熱性能 → 2.9	→ 低い 6.0

※熱貫流率の値が小さいほど、断熱性能が高くなります。 ※3-A12-3の性能値となります。 ※算出根拠はP.117を参照してください。

## ポイント2: 地域や方角に合わせたガラス選び

お住まいの地域や窓の方角などにあわせてガラスを選べると、より快適に過ごすことができます。

### 地域に合わせてガラスを選ぶ例



- 日射量が少なく寒い地域**  
日射の影響が少ないので断熱を優先し、Low-Eグリーンを活用。日差しが入る部屋にはLow-Eクリアも検討。
- 日射量が少なめで比較的暖かい地域**  
冬、暖かい日差しを採り込むために、Low-Eクリアの活用がおすすめ。
- 日射量が多く暖かい地域**  
夏の暑さ対策を優先し、Low-Eグリーンの活用がおすすめ。

※参考: 建築環境・省エネルギー機構「住宅の省エネルギー基準の解説(第3版)平成21年7月発行」より

### 部屋の方角に合わせてガラスを選ぶ例

**[北側]**  
暗くなりがち  
→高窓などで明るく

**[西側]**  
夕方明るい  
→西日対策

**[南側]**  
日中強い日差し  
→直射日光を防ぐ

**[北側・東側・西側]**  
断熱性能を高め、  
しっかり寒さ&結露対策

※冬の暖かい日差しを積極的に採り込みたい場合は、東西面をLow-Eクリア+シェードにする効果的

**[南側]**  
冬は暖かい日差しを採り込み、  
夏は「シェード」や「ひさし」で日射をカット

シェード:スタイルシェード ひさし:スリムアート